

【NEWS RELEASE】

2023年3月24日

各 位

ZENKO GROUP

ZENKO BEAMS のゴールボール体験会について

株式会社ゼンコー（本社所在地：埼玉県さいたま市、代表取締役社長：海野弘幸）が運営する女子硬式野球チーム「ZENKO BEAMS」が、3月12日に東京都練馬区でパラスポーツ支援イベント「ゴールボール体験会」を開催しました。

ゴールボールはパラリンピックの正式種目の一つで、障がいの有無や程度にかかわらず誰でも同条件でプレーできる球技。当社は一般社団法人日本ゴールボール協会オフィシャルサポーターとしてパラスポーツの支援活動を行っており、これまでもイベントや大会サポートなどを積極的に実施しています（詳細：<https://www.zenko-group.co.jp/csr/japangoalball/>）。



【参加者コメント】

◆田中 露朝 選手：今回の参加者は年齢層も広く、たくさんの方が来ていただきました。私が担当したグループは小学生でした。はじめは「難しい」「怖い」「痛い」と言っていたのですがミニゲームになると「痛いけど、楽しい」「点が入ってうれしい」など言ってもらえ嬉しく思いました。少しでもゴールボールの楽しさが伝わったのではないかと思います。教える立場は難しく、私自身不安でしたがみなさんの一生懸命な姿勢に感動しました。今回の体験会で、興味を持ってもらい、またパラスポーツを知るきっかけになってもらえればと思いました。

◆河野 朱加 選手：当日は 9 歳～80 歳と幅広い年齢層で参加して頂き、その中で中・高生 VS BEAMS で戦わせて頂きましたが、もちろん手加減なしの大人げない対応で勝ちました。



◆小林 真夕奈 選手：今回は参加者の年齢層も広く、多くの方が来てくれたのでデモマッチ等のゲームをする時は緊張しましたが、少しでも皆さんにゴールボールの楽しさが伝われば嬉しく思います。参加者の皆さんの一生懸命な姿や、点が入ったときなどの笑顔が印象的で、私達も楽しんで取り組む事ができたので時間が過ぎるのがとても早く感じました。今回の体験会を、ゴールボールはじめバラスポーツと関わっていくきっかけにさせていただけたらいいと思いました。

◆安武 真保 選手：幅広い年齢層の方々が参加して下さる体験会を運営するのは初めてでしたが、東京ドームスポーツさんのお力を借り無事終了することが出来ました。体験会はもちろん楽しく行えましたが、スポーツイベントのプロフェッショナルである東京ドームスポーツさんの企画力・運営力を身をもって学ぶことが出来ました。今後の GB 体験会に活かせる貴重な一日となりました。

◆坂口 英里 選手：私は、37 歳～77 歳の E 班(えり班)を担当させて頂きました！ 初めてで怖いはずなのに何とか体に当てようという気持ちが伝わってきて、いくつになっても全力で取り組む姿はとてもカッコ良かったです。あっという間の一日でした！



◆小清水 環 選手：私は中・高生を担当させていただき、BEAMS とのゲームでは負けてしまいましたが、投げ方を変えてみるなど試行錯誤して点を取ろうと頑張っている姿がとても印象的でした。参加者の方々だけでなく私自身も楽しみながら勉強になった貴重な一日でした！

◆内永 芽依 選手：先日、ゴールボール体験会に参加してまいりました。私自身ゴールボールを体験するのが初めてでもあり緊張する場面もありましたが楽しむことができました。体験して下さった皆様の姿、指導している姿を写真係内永が収めた渾身の一枚をご覧ください。



◆山本 悠未 選手：暗黙の了解を無視して手加減なしの BEAMS。次第に会場はアウェー感に…。大人の厳しさを教え続けてました。(笑) 純粋に楽しむ無邪気な小学生、少し恥ずかしそうにしている中・高生、何事も一生懸命な大人の方々のおかげで終始和気藹々とした雰囲気でした！！

◆山口 優生菜 選手：私は補助やタイムキーパーをやらせて頂きました。子供から大人の方まで、ボールに怖がることなく立ち向かっていく姿や、顔にボールが当たっても試合に出続けたりとガッツ溢れるプレーがたくさんありました！ 参加している皆さんが楽しそうにゴールボールをしていてとても充実した一日でした！

